

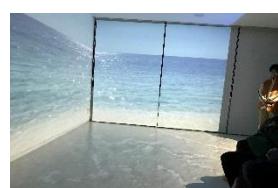


鈴鹿組佛教婦人会念佛奉仕団  
来年 2018(平成 30)年度は  
10月 11日(木)～12日(金)です。  
鈴鹿組佛教壯年会念佛奉仕団  
6月 18(月)～19 日(火)です。

### 無量寿会報恩講法要



11月 16日(木)、無量寿会報恩講法要をおつとめさせていただきました。今年は、若狭よりそば打ち名人の鳥羽正和師にお越しいただきました。朝から会員さんにそばを打ってくださいり、役員さんもお手伝いにお世話になりました。お昼会員さんお参りにみえ、先生の打たれたおそばを堪能しました。午後から「正信偈」おつとめ、料理人から伝道人にとご法話を楽しくご聴聞させていただきました。過疎化の進む中自然の中でお念佛とともに同行との日暮。「私たちは自分の都合でものを見、とらわれ、俺が俺がと主張している。いつしか一人で大きくなったように思う、そうでなかつたと気づかせていただくのが仏法。電気も+、-によって電気がつく。異質の協力、違うものと一緒に「和をもって貴しとなす」、それぞれが違いを認めあっていくことが、心豊かに生きることです」うたも歌われ和氣あいあいのひと時でした。



### 佛教壯年会一日研修

小春日和の 11月 19 日(日)佛教壯年会は、亀鈴会の伊藤さんの運転で伊勢方面に施設訪問、懇親を兼ねて一日研修に出かけました。二見が浦の近くに新しく開設された福祉施設「潮音」、明るく、広い食堂、ジムゆっくりとできるリビング、お風呂なども見学。食堂は、地域の方々への弁当サービスも兼ねているそうです。なかでも、スヌーズレン音楽療法室という部屋では、精神的に障害をもった方が映像と音楽で気持ちを落ち着かせ、治癒していくといった施法を紹介していただきました。現状維持にとどまらず前向きな理法だそうです。一路施設を後に相差まで海女の食事と温泉宿「浜榮」で、お風呂につかり海の幸に舌づつみ、身も心もゆったりの一日でした。



「いせうどんの会」みんなあつまって!!とよびかけ、子どもたちが集まってきた。おつとめをして、報恩講に向けての展示を手伝っていただきました。子どもたちも参加した行事の写真をイラストを作って貼っていきます。上手に仕上りました。お待ちかね、伊勢うどんも出来上がりました。ご院さんの唐揚げの差し入れも、美味しいいただきました。12月 9日の報恩講お初夜は、こどももおとなも一緒に楽しみたいと思います。みなさんお参りくださいね。



先日の午後の昼下がりにテレビ

(どさんこワイド179)を観て、市内の漬物店が紹介されました。

TVの画面から住所を知りビックリしました。私が以前に住んで居た場所から、そう離れてなく、懐かしさの余り見入っていました。紹介されたお漬物は色々ありました

その中でも、私にはにしん漬けに気が付き、無性に食べたり、女房

を同乗して、自宅から15キロ離れた漬物店にて、お目当てのにしん漬けを1袋(500g)を購入して帰宅しました。自分でも呆れるぐらいの衝動買いでしたが、夕飯時に一口食べたところ、酸味が効いた、懐かしい、あの頃の味に心が和みました・・・父母の想い出が自然と心に漂い良い一日でした。私の記憶にある、我が家は、昭和20年中頃から30年頃まで、青果店を開いていました。裏には、沢山の大根、にしん、数の子を干して、父母が漬物を作っていました。食卓にはその漬物が沢山並んでいた事を思い出します。久し振りに父母を偲ぶ心穏やかな時間が過ごせました。

北海道 大島義勝さん

## 懐かしい漬物の味



「こうろいづくに」  
秋すぎて こころいづくに

ゆくならむ

ゆきかふきさきは 平安の世か

「米」

東北の あまき真水は

岩木山 遠野をすぎて

銘酒となりぬ

「むかしの榮華」

集めたる 古伊万里は

父の宝物

居場所なくして

母なげきをり

東京 小笠原孝枝さん

朝倉市

手際良く樽を並べ、刻んだ野菜と鯛を入れる

澤山の大根、にしん、数の子を干していた

■昭和二十年代頃には、我が家は青果店だった

漬物の大半は自家製品であつた事を覚えてる

懐かしいな、父・母の想い出の味がする

他に何のオカズも要らない、ご飯が進む



おかげさま  
一年を

瑛子

森田

さん

行く雲も 流るる水も 秋惜しむ

秋逝くや 墓前で囲む マツチの火  
憂きことの 多きニュースや

枯葉掃く

独り居の 余生ゆだねて 冬に入る  
実南天 一粒づつの お念佛

茶の花や 今日も息災 日の暮るる

報恩講 寺のぜんざい 甘かりし

落合登代子

我が死ぐれば一日の恥あり  
和歌の浦あおくぞ人の  
あらんかざりは  
親鸞聖人



札幌市  
大島  
光子



「むかしの榮華」

居場所なくして

母なげきをり

手際良く樽を並べ、刻んだ野菜と鯛を入れる

澤山の大根、にしん、数の子を干していた



心安らかに

岩狭町  
鳥羽  
さん

正和

さん

今年もあとひと月、日を追って數え新しい年を迎える。いや、その前に今日一日を充実したい、大切にしていきたい、無常迅速なるいのち。くれぐれもお大事にて。なんまんだぶ